

ヨコハマアートサイトラウンジvol.49

横浜の文化の基盤 これまでとこれから



ゲスト

鬼木和浩（横浜市にぎわいスポーツ文化局文化振興課長・主任調査員）

佐藤李青（アーツカウンシル東京・プログラムオフィサー）

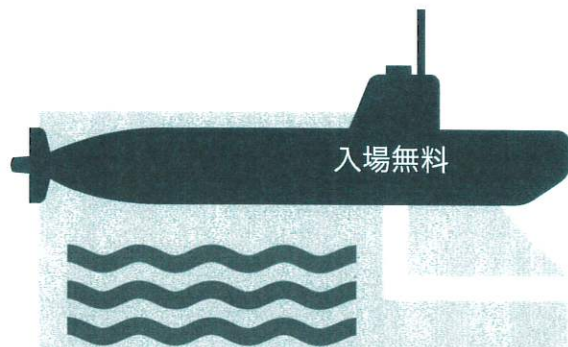
進行：小川智紀（ヨコハマアートサイト事務局）

多くの文化活動が行われている横浜では、芸術家や文化団体をむすぶネットワークが活発に動いています。その基盤の一つになっているのが、自治体の文化政策の流れです。たとえば、横浜の地域文化をサポートする「ヨコハマアートサイト」は2008年にスタートし、民間の文化活動を支え続けてきました。

今回のアートサイトラウンジでは、1947年に市役所に設置された「民生局文化課」から現在まで続く、市役所による市民文化を支える活動を振り返り、あらためて文化と市民自治の関係を考えます。

鬼木和浩（横浜市にぎわいスポーツ文化局文化振興課長・主任調査員）
1988年横浜市に入庁し港北区の文化振興を担当。その後、福祉、税務などの部署を経験した後、2004年4月から文化芸術都市創造事業本部文化政策課に配属。「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」設立、指定管理者選定、文化施設整備等を担当。2009年4月から横浜市役所初の文化芸術の専門職員に就任。2021年4月から現職。日本文化政策学会理事。

佐藤李青（アーツカウンシル東京・プログラムオフィサー）
地域の多様な連携づくりを実践する東京アートポイント計画やTokyo Art Research Lab、東京都・区市町村連携事業などを担当。Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）は立ち上げから終了まで携わる。2011年6月より現職。単著『震災後、地図を片手に歩きはじめる』、共著『文化政策の現在』ほか。



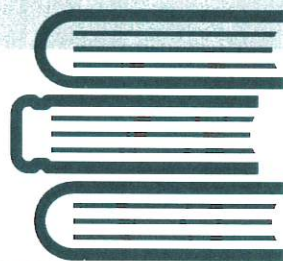
日時：2026年3月17日(火)

18:30~20:00

会場：横浜市開港記念会館

会議室7号室

（横浜市中区本町1-6）



ヨコハマアートサイトとは？

市民や地域団体が主体となって地域課題への多様なアプローチを行う文化芸術活動を支援しています。地域におけるコミュニティの活性化を図るため、参加者間の研修や交流に取り組んでいます。

お申し込み



ヨコハマアートサイト

左記のQRコードまたはHP上にあるフォームより、お申し込み内容をお送りください。電話でのお申し込みも可能ですので事務局へお問い合わせください。

主催：ヨコハマアートサイト事務局
（STスポット横浜、横浜市にぎわいスポーツ文化局）

お問い合わせ

認定NPO法人STスポット横浜

HP：<https://y-artsite.org/>

TEL：045-325-0410

FAX：045-325-0414

〒220-0004

横浜市西区北幸1-11-15横浜STビルB1